

第2版はしがき

本書の初版の上梓から4年が経過し、このたび第2版を刊行することにした。初版は、民法（債権法）改正（2017年公布）に合わせて刊行されましたが、改正法は2020年4月に施行されています。民法の改正作業はその後も連綿と続いており、2018年には相続法の改正（2019年および2020年施行）と成年年齢を20歳から18歳に引き下げる改正（2022年4月施行）が実現しました。2021年にも主に所有者不明土地建物の問題を解決することを目的として物権法の改正がなされました（今後は親族法の改正がスケジュールに上がっています）。

本書の第2版では、債権法改正以後に実施された上記の改正を反映して記述しています。とりわけ、相続法は40年振りの大規模な改正であったので、それに関連する章（14章）に大幅な加筆をしました。そのほか、初版における誤記や記述の誤りを訂正し、表現を改めるなど、より読みやすいものにしています。ただし、文章を切りつめるなどして全体的な紙幅の増加を抑えたので、コンパクトな民法入門書としての本書のメリットは第2版においても維持されています。

本書は刊行以来、福岡大学をはじめ多くの大学などで民法の教科書として採用され、たくさんの方に愛読されてきました。執筆者一同、読者の皆様のご厚誼に感謝するとともに、今後もよりよい教科書にしていきたいと考えています。

本書第2版の執筆担当者と担当部分は初版と同じですが、14章（相続）の加筆部分と索引は畑中が担当しています（登記簿、戸籍、婚姻届のひな形は法務省のホームページから転載させていただきました）。

第2版の刊行に当たっても、初版のときと同じく法律文化社編集部の小西英央さんのお世話になりました。この場をお借りして改めてお礼を申し上げます。

2021年6月

執筆者一同